

子どもたちには豊かな学びを、地域の皆様にとっては生きがいや喜びに繋がり、ひいては地域の力になっていくものと期待しております。

また、小学生の保護者の就労を支援するため、平成32(2020)年4月の開設を目指して、成岩小学校敷内に放課後児童クラブ施設を新設し、利用希望の増加に対応してまいります。学校施設への空調整備につきましては、平成31年の夏に合うように設置を進め、児童生徒が学習に集中できるような環境づくりを進めてまいります。

観光振興

全国にも誇ることのできる本市の有形・無形の観光資源を活かし、四季折々のイベントなどを通じて新たな観光客の取り込みを図ってまいります。

本市の発展のルーツである「酢」とその代表的な料理、「すし」にスポットをあて、すし店を巡る仕掛けづくりに取り組むとともに、民間事業者と連携した半田市ならではの体験プランを造成し、誘客を図ってまいります。

また、主要観光スポットである半田運河と半田赤レンガ建物及びそれを結ぶ紺屋海道において、新たにハロウィンイベントを開催し、回遊を活かした誘客を図ってまいります。

さらに、「半田運河を楽しむ」をコンセプトに平成30年度から実施しております、各種のHOTTORIイベント

トをさらに磨き上げ、年間を通してイベントを開催するなど、拡充実施してまいります。

その他の主要な施策

◇半田病院につきましては、基本合意書を取り交わしました常滑市民病院との経営統合に関する協議を進めるとともに、新病院の平成37(2025)年度開院に向けた建設に取り組むため、設計事業者の選定をいたします。安定して受けられるよう、常滑市と手を取り合って協議を進めてまいります。

◇公共交通対策事業につきましては、「ごんくる」及び知多バスの実証運行を踏まえ、路線やダイヤの見直しを進め、運行のない空白地帯の対応についても地域の皆様と話し合ってまいります。また、運行中のバスの位置や指定したバス停までの到着時間が分かるシステムの導入や、交通系アプリで路線検索が可能となる環境整備を進め、利便性の向上に努めてまいります。

◇JR武豊線連続立体交差化事業及びJR半田駅前土地区画整理事業につきましては、平成32(2020)年度の半田駅仮駅舎建設及び仮換地指定に向け、用地取得や建物移転などに取り組むとともに、地域の皆様と魅力あふれる中心市街地や半田の玄関口にふさわしいまちづくりについて、話し合いを進めてまいります。

◇乙川中部土地区画整理事業につきま

しては、都市計画道路環状線の庚申町交差点から乙川昭和橋東の交差点までの約900メートルにおいて、4車線で跨線橋の整備に向けた建物移転を進めてまいります。

◇快適な住環境には不可欠な公園事業につきましては、任坊山公園の宮池エリアにおいて、既存樹木等の自然を極力残し、水辺に親しみながら散策できる公園となるよう、散策路や親水デッキなどを整備してまいります。「自然を感じ、健康を育む公園」をテーマに、市民の皆様や利用者の声を反映した心癒される公園を目指してまいります。

◇ごみ処理につきましては、市クリーンセンターから、平成34(2022)年度に半田市、常滑市、南知多町、美浜町及び武豊町による知多南部広域環境センターでの広域処理へ移行いたします。広域処理が開始される際には、家庭ごみの排出量に応じて、各市町が処理費を負担することになるため、ごみの減量、資源化をさらに進める必要があります。そのため、新たに2か所の公共資源回収ステーションの設置や、一般家庭での庭木の剪定枝等の資源化を進めてまいります。

◇クラシティブースポートセンターの開設につきましては、知多県民センターでの旅券発給事務の終了に伴い、平成31年4月1日より、クラシティブースポートにおいて、半田市、常滑市、高浜市、阿久比町、南知多町、武豊町の3

市3町の住民に対するパスポートの発給事務を開始します。

◇多文化共生社会の推進につきましては、外国人住民、日本人住民が互いの文化を理解し、地域内で交流が深まることで、誰にとっても暮らしやすい環境を築いていくため、市民や関係団体等による検討会議を立ち上げ、「多文化共生社会推進計画」を策定いたします。

◇プレミアム付商品券事業につきましては、消費税が平成31(2019)年10月に引き上げられることに伴い、プレミアム付商品券の販売をいたします。これにより、子育て世帯や低所得者の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費喚起を図ってまいります。

◇最後に、平成31年度から次の新しいまちづくりの指針となる第7次総合計画の策定に取り掛かります。これからの時代は、世界の政治情勢や経済情勢が、地方自治体の財政にも影響を及ぼすことも珍しくない、展望がたい不確実な時代であります。このような時代だからこそ、私たちは進むべき方向を共有し、助け合っていかなければなりません。

ぜひ幅広い世代の市民の皆様に関心を持っていただき、計画づくりに参加、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。